

福岡女子大学 同窓会

第85号



筑紫海会報



事務局 福岡女子大学内 TEL (092)671-6360 FAX (092)692-9185



この度、図らずも筑紫海会の会長という大きなお役をお引き受けることになりました。

思い迷いのなか、時代や時、同窓会の現状など、様々な流れを受けとめつつ歩み出したところでございます。理事事に若い理事の方が増え、その新しい発想に次の時代を見る思いも致しております。



第11代 筑紫海会会長 矢野 芙美子 (大10回)

感謝と希望、伝統から創造へ

原から香住丘へをお持ちの方は、もう一度、今回全卒業生、在校生に贈られました。学校法人筑紫海学園の軌跡、是非是非お読みくださいませ。

長い間、共に歩んでまいりました。学校法人筑紫海学園が閉じられ、同窓会も新たな時を迎えることになりました。これからの同窓会を考えます。70周年の記念誌「憶が原から香住丘へ、筑紫海会70年の軌跡」を改めて読ませて頂きます。

退任挨拶

出合いに感謝して

第10代 筑紫海会会長 山本 津弥子 (大8回)

先輩の力で

北九州支部の山根房子さん(大4英)の紹介で「校歌」をソプラノ歌手桑原英子さんの澄み切った歌声でCD化ができたことです。

式典の際、只あるから歌っていた校歌が、倉野憲司先生の作詞の一言一句が女子大の存在意義や誇りを伝えていたことを感じます。人の感性に訴えるのは磨かれた感性で表現されるときだと思えました。

後輩の実行力で

副会長古屋和子さん(大15英)高木俊子さん(大19理)との出合いです。「どうして次々とアイデアが出てくるのですか、さっそく実行に移しましょう。」同窓会の事業も少しずつ変わっていき、相談すると上手に褒めてくれ、取り入れてくれるのです。いい気になって寝ずに考えました。

母校の姿に

大学関係者の新しい大学を目指す情熱を感じ、同窓会は何をしたらいいのだろう、これからの母校との関わり方、

ただ、母校の改革の球がストライクであることを願っている応援団席に「筑紫海会」が座っていることをお忘れなく!

総会当番を終えて

当番委員長 肥川 絹代 (大23英)

会場のおちろちろで再会を喜び歓声が上がります。元気を確かめ合って交わす笑顔。白髪がちらほら顔を出している友人、ちよっぴりふくよかになった友人。しかし、それも束の間。あっという間に、つらきころの友人の顔に。誰もがあの頃に戻っていく。時間と空間を超えた場が、5月26日、



平成25年度 総会報告

5月26日(日)ヒルトン福岡シーホークで180名出席のもと総会が開かれた。開会の言葉、物故者への黙祷に続き、山本会長より6年ぶりの同窓会名簿発行、大学に絵画寄贈等の報告があった。

議事

(1)学校法人筑紫海学園解散に伴う筑紫海会則改正と業務受託

(2)平成24年度事業報告

(3)平成24年度会計決算報告

(4)役員改選

(5)平成25年度事業計画案

国際交流事業の推進、同窓会活動のサポーター募集のアンケートへの協力依頼

波紋

NHKの9代目うたのお姉さん(小鳩くるみの前、1970〜72)のその後、は？そんな興味もあつた今年の東京支部総会のアトラクションでした。その人、山田昌子さん(ソプラノ)はページョのロングドレスが華やかお母さん。テノール歌手の息子さんとお嫁さんはピアノリスト。家族で日本と世界の愛唱歌を歌い継ぎたいと、NPO「ポポロ」を2001年に設立。会場と一緒に歌い、鼻歌(笑顔)のある毎日、と活動されています。オペラ「椿姫」の乾杯で心弾むコンサートが始まり、「からたちの花」、「蘇州夜曲」、「朧月夜」、「赤とんぼ」と懐かしい曲目。次に「チリビリン」、「オーソレミオ」の力強い歌声に魅了されました。フィナーレは、震災復興支援の歌「花は咲く」を皆さんで。歌詞には無くしたもののへの惜別、自分の生き方への懸念(ワタシは何ヲ残シタダロウ)、そして、咲く花の命に託した祈り。被災された方々の復興を祈る合唱でした。私は2010年2月に脳梗塞を発症。与えられた命を考えました。翌年の大震災です。止まらない涙、停電の間で知った月明かりの美しさ。これからどう生きていくのか？くしくも3月11日は私の誕生日です。

岡部 純子(大15英) 東京支部

学校法人筑紫海学園は 解散を結了しました

理事長 上村 元子 (大6被)

学校法人筑紫海学園は本年度筑紫海会総会(平成25年5月26日)において、解散結了を報告いたしました。そしてこの日、学校法人42年間(香椎幼稚園、つくしみ山荘)を『学校法人筑紫海学園の軌跡』として編集したものを発行いたしました。

当日、出席の皆様には配布し、学生を含む各会員、福岡女子大学関係者には後日発送しました。

まず、前会報のあと、解散結了にいたる経過をお伝えします。

平成24年11月、幼稚園の廃園に伴う書類保管を同窓会に委託し書類保管料として二十万円の支出を決定しました。

平成25年3月、田村能里子氏壁画「凜として」が完成、搬入され、大学会館エントランスに設置いたしました。お披露目式は4月30日、学長を初め大学関係者と同窓会、法人の理事と評議員で行いました。田村氏からは祝電と花束が届きました。

平成25年4月以降、計画していた事業が終了し、いよいよ最終年度の収支決算の段階に入りました。ここで残余財産が明らかになります。下記の収支表で明らかになるこの額は一億三



壁画「凜として」のお披露目式 2013.4.30

女子大学同窓会の事業として、法人の運営を担ってきた筑紫海学園理事会は、これまでの様々な問題

に感謝状を授与されました。学校法人筑紫海学園理事会の兆しは平成20年のつくしみ山荘の廃業からでした。その後、大学から香椎幼稚園借地返還要求(平成21年)が出され、24年3月、香椎幼稚園廃園へと進み、25年5月学校法人筑紫海学園の解散に至りました。福岡



『学校法人筑紫海学園の軌跡』

学校法人筑紫海学園 最終年度収支報告 (平成24年4月1日~25年4月30日)

(単位:円)

部	項目	金額
収入の部	前期繰越金	12,484,187
	雑収入(預金利息等含む)	617,626
	特定預金等からの繰入(*1)	160,297,602
	前期未収入金の入金(*2)	7,581,800
	基本金取崩(*3)	22,197,000
	計	203,178,215
支出の部	人件費	2,909,264
	一般管理費	44,515,379
	寄付金	32,949,080
	前期末払金・預り金の払出(*4)	19,804,492
	残余財産	103,000,000
	計	203,178,215

(*1) 固定資産から通常使用する現預金への変更
 (*2) 前期末の未収入金(退職社団基金)の入金
 (*3) プロセス像の寄付により基本金からの構築物除去
 (*4) 幼稚園教職員の退職金の支払支出・退職金支払いに伴う源泉徴収税の納付

開学記念式典 第2回ホームカミングデー



4月20日(土) 大学会館において、開学記念式典第2回ホームカミングデーが開催されました。出席者330名の式典では、教職員・学生への表彰、活動報告などがあり、昨年、院展入選の絵画を大学へ寄贈された前園裕子さん(大15食)への感謝状贈呈式がありました。梶山学長より、「我々は全国初の公立女子高等教育機関であり、女性リーダー育成」という建学の精神は、現在の女子大に確実に受け継がれ、なおかつ国際感覚を持ち、世界で活躍する女性リーダーの育成

を目指している。他県からの志願者が増えている」というお話がありました。その後の記念講演では、NPO法人「ロシナンテス」代表川原尚行氏より、スーダンでの医療ボランティアの様子や東日本大震災での活動報告がありました。そして最後に「ハチドリ」の話を紹介されました。森が燃え、一音に森の動物たちが逃げ、火の方向に、小さくくちばしに一滴の水をくわえたハチドリが飛んで行き、火の上でその一滴を落とした。それを見て動物たちは笑った。ハチドリは「ぼくは、ぼくのできることをやっているだけ」と答えた。皆自分ができる一滴をやればよいという川原氏の言葉は心にズシンと響きました。



式典終了後、一階食堂で大学が用意して下さったお弁当をいただきながらのながやかな懇談会。十分に同窓生の旧交を深めることができました。懇談会後、キャンパスツアーに参加したり、学生による海外語学文化研修の報告会や国文学科・英文学科の茶話会に出席し、工藤教授の講演を聴いたり、学生時代に戻ったような楽しい一日でした。

川原氏プロフィール
 梶山小倉高校 九大医学部卒業
 2002年外務省より医務官としてスーダンに赴任。医務官の立場では現地の人を診ることができないため外務省を辞めスーダンで医療活動を行う。2011年からは東日本復興支援活動も行っている。

平成26年度 福岡女子大学 開学記念式典&ホームカミングデーのご案内 平成26年4月20日(日)

【参加申し込み方法】
 各支部長・クラス委員を通じてご案内致します。
 参加希望の方は事前にお申し込み下さい。
 (当日はお弁当の用意があります。)
 マリ・クリスティエヌ氏講演予定 (現国連ハビタット親善大使)

入学式記念講話 「凜とした花のごとく」

イリノイ大学名誉教授 郡司 紀美子氏 (大10英)



平成25年度入学式が4月4日大学会館大ホールで行われた。今回の入学式では郡司紀美子氏が招かれ、来賓・留学生を含む新入生・保護者を前に記念講話をされた。

郡司紀美子氏(大10英)は、1967年日本人2世の夫君と結婚・渡米。夫君の勤務先であるイリノイ大学の図書館に勤務しながら、日本伝統文化の助手を務め、お茶・お花と日本文化を教えるチャンスが巡ってくる。ところが郡司氏は異国の地で英語に不慣れというより、日本語でも日本の伝統文化をきちんと伝えることができない自分にシヨックをうけ、伝統文化・芸術を大学

で学び直し、結果イリノイ大で40年間教鞭をとることとなり、同大学初代日本館館長も就任された。

郡司氏は今までの経験を踏まえて、
 * 努力すれば何事も可能である。諦めてはいけない。
 * 大学の学びの場でチャンスを活かすこと。「活かす」とは新しい種を得るまで教室を出ないということ。
 * そして、ひとにぎりの人との出会いでその種は芽を吹くとし、「自身の生涯続く同窓生との交流の豊かさを披露された。

国際人としてまず日本のことを深く学ぶことの大切さ、礼節を重んじ、感性を高め、凛として女性らしく、

今回の入学式では、福岡市在住の女専卒、大1回・大10回・大20回・大30回の卒業生に招待状が送られ、希望者が参加。初めての試みで参加者は少数でしたが、同窓生として紹介もありました。

来春は新校舎も一部完成しており、該当の女専卒・大2回・大11回・大21回・大31回の方々(福岡市在住)は母校に足を運ぶチャンスです。

「入学式」は学ぶ意義を新鮮に思い起こさせることでしょう。

福岡女子大学 伝統ある国文学会 ついに閉じる

「香椎潟」は、現在第59号を編集、第60号まで発行されること。

福岡女子大学からのお知らせ 創立百周年記念事業

同窓会ブックカフェ

～かすみ祭(大学祭)に出店～ 寄贈図書の展示や古書の提供、現在の同窓会・同窓生活動の展示・お知らせ等を行います。

日時 11月2日(土) 13時～16時 11月3日(日) 10時～16時 会場 福岡女子大学 C棟1階

ご提供いただける図書、クラス会便り・写真・勉強会等のご案内等、募集いたします。

問い合わせ 10月12日(土)までに、FAX・はがき・メール等で、事務局までご連絡ください。

あのころに戻ってみませんか？

福岡女子大学からのお知らせ 創立百周年記念事業

女子大留学生のお正月体験 学生と一緒に正月を過ごしませんか？

女子大で学んでいる海外の学生を自宅に招待して、日本の家庭のお正月を体験してもらう企画です。

日時 12月31日～1月2日 対象 女子大の学部留学生 申込方法 10月末日までにFAX・メール・はがきで、下記～を記入して申し込んでください。



平成25年度 特別講演会のお知らせ

料理研究家村上祥子さんは、ご存知女子大11回食物科のご卒業で、全国を舞台に活躍されています。

昨年度から、筑紫海会と大学の共同主催で特別講演会を実施しています。

日時 平成25年11月8日(金) 13時30分～15時15分予定 会場 レソラNTT夢天神ホール



平成25年度 福岡女子大学公開講座のご案内

■「世界を知ろうー学術研究におけるローカルとグローバルー」 受講料：3,000円(全8回分)

Table with 4 columns: 回, 日程, テーマ, 講師. Rows include topics like 'World's focus on Indo-Pacific region' and 'East Asia's 'development' returns'.

■「続・中国現代文学と九州ー郭沫若の例を中心にー」 日時：10月24日(木) 13:00～14:30

講師：武 継平(福岡女子大学教授)

■古文書で見る江戸時代の京都(3) 「体制に挑む町人ー百姓一揆と打ちこわしー」

日時：12月13日(金) 14:40～16:10 受講料：無料 講師：スウェン・ホルスト(福岡女子大学准教授)

★福岡県立3大学連携県民公開講座のご案内

「食べる・噛む・生きる～食育で作る健康な心と体～」福岡会場 日時：11月29日(金) 13:00～15:00

■「わたしーななかまーみんなをつなぐもの～社会性の心理学～」 受講料：1,000円(全3回分)

Table with 4 columns: 回, 日程, テーマ, 講師. Rows include topics like 'Empathy and well-being' and 'Intermediate experience and social development'.

お問合せ先 福岡女子大学 地域連携センター 女性生涯学習研究部門 〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1

※他にも、特別講演会が開催される予定です。詳細はセンターまでお問合せいただくか、ホームページをご覧ください。

《受講方法》

- FAX、E-mailのいずれかに、①受講希望講座名、②氏名(ふりがな)、③住所、④電話番号、⑤年齢をご記入の上、お申し込みください。

ご提供いただいた個人情報は、公開講座等の実施・運営、本センターからのご案内等に使用させていただきます。

【2013支部総会報告】

各支部で、当番幹事の趣向を凝らした和やかな会が開催されました。

- 東京(5.14) 明治記念館
- 近畿(6.2) ホテルグランヴィア大阪
- 久留米・筑後(6.22) ハイネスホテル
- 北九州(6.23) 小倉リーセントホテル
- 長崎(6.23) 長崎インターナショナルホテル
- 筑豊(8.25) あをぎり



東京支部総会 山田ファミリーの演奏会「波紋」参照

創立60周年を迎えた熊本支部

熊本支部 魚住 寿徳(大22被)

毎年5月末の筑紫海会総会が終わると、熊本でも支部長から役員集合の声がかかる。世代や職業も異なり、母校を同じくするというだけの繋がりがあっても、パワフルで博識、飾らない人柄の先輩方にお会いするのはいつも楽しみである。

熊本支部は昭和28年に発足。以来、年に一度の支部総会を持ち続け、現在に至っている。戦前戦後の時代の変革期を生き抜き、リーダーとしての強い信念を持って支部を牽引してこられた先

しい生き方にいつも触発されてきたものの、多くの方が高齢となられ、現在の支部活動は、参加者の減少が続く。危機感を覚えている。会員の心の拠りどころとな



2012.11.3 大学訪問

講話)で研修を深める。その後、会食をしながら各自の近況を報告するという形が基本である。卓話は、一昨年、中国の民族問題について専門家から話を聞くなど、タイムリーな話題を心がけている。

また時には小旅行や果物狩り、料理講習会など体験的な活動を楽しむこともある。昨年は大学の「かすみ祭」に合わせて新生福岡女子大学を訪問した。時間的・体力的にも負担の少ないマイクロバスを準備し、車内では近況報告をして、和やかで楽しい時間を過ごした。大学到着後も筑紫海会本部や大学の温かいもてなしをうけ、校内や学生寮をくま

会員の交流を図って 北九州再発見バスツアー

北九州支部長 住吉 育代(大20食)

昭和8年に「北つくしみ会」と称し、門司、小倉、八幡、戸畑、若松の各地区で各々の活動を行っていた同窓会が、現在のように「筑紫海会北九州支部」としてまとめられたのは、平成8年のことでした。初代の藤井トモミ支部長、二代石松成子支部長、三代山根房子支部長、四代花崎正子支部長を経て、私が昨年より五代支部長を仰せつかっております。会員数約570名を数えています。



安川電機佛黒崎工場

各方面で活躍中の卒業生を講師にお迎えしています。年度には、大学から副学長の甲斐裕先生に「新生福岡女子大学の現状と今後の方向性」と題し、ご講演をいただきました。また、今年度の総会においても、「大学改革に伴う変化と今後の課題」と題し、副学長(国際化推進担当)の向井剛先生にご講演をお願いしました。先生は留学生(ベトナム国家大学ハノイ校フエキャン)も連れてこられ、大学の国際化が進んでいる実態をまざまざと実感することができました。筑紫海会本部からは副会長の江島玲子さんにご出席いただきました。総会の幹事を平成20年度から当番制にしたことで、当番期の結束が強くなったり、今まで総会に出席していなかった人が参加したりとよい傾向が見られ

また、年に一度の総会だけでは会員の親睦・交流が十分に図れないと、「お楽しみ会」を開催することになりました。第1回は平成22年11月に「シャソンのひととき」を市内在住のシャソソ歌手TAKAKOさんを招いて開催。85名参加して大盛況。第2回目は平成24年10月に「北九州再発見バスツアー」と題し、「TOTO小倉工場」「無法松酒造」見学。本部や下関の会員も参加していただき、参加者は32名でした。第3回目は今年7月26日に「北九州再発見バスツアー」と題し、「安川電機佛黒崎工場」見学。精巧な動きをするロボットに感



芦屋釜の里

宮坂覚先生からのメッセージ —「ようきんしゃつたね FUKUOKA」—



「中国芥川紀行」

ウェルカムボードに胸を騒がせながら、今年も福岡空港に降りた。宮坂ゼミ同窓会に出席のためである。女子大を離れて33年、毎夏の福岡詣である(2回ほど欠席)。女子大は、私の初めての職場であり大学教員の原点・原風景である。6年間在職して100名を越すゼミ生が研究室から巣立った。彼らに育てられたように感じている。毎年、元気を貰う。人生の出会いの豊饒さを楽しみと思う(彼女たちにとってもそうであってほしいと期待するが...)。来年は、古稀である。フェリス女学院を、今年3月に大学院客員教授を最後に引いた。今は中国で大学院招聘客員教授として教鞭をとっている。この9月から1か月(前回は4か月余)の予定で集中講義に出かける。

毎年作成している「五行通信」という小冊子は、先生や同窓生の近況のみならず、女子大改革の様子を伝えられた。今年も参加者19名は先生の近況報告を目にし、まさに先生の私生活への「好奇心」でいっぱいとなった。先生は昨年新しい伴侶を迎えられたとのこと。先生の元気の源はこれだったのかと、皆合点した。いつまでもお幸せに！

宮坂ゼミ同窓会だより

酷暑の8月18日(日)、「博多大福」で、夏恒例の宮坂ゼミ同窓会が行われた。宮坂覚先生は、昨年横浜のフェリス女学院大学の学長を任期満了で退任された。来年度古稀を迎えられるとは到底思えない程、若々しく元気いっぱいのご様子だった。今年も「中国滞在で得たもの」というテーマで、中国・浙江工商大学で講義された折のスライドを見ながら、中国留学生の研究熱心な様子や、「芥川紀行」で上海・西湖などを巡り「好奇心」の大切さを痛感したことなど、昔と全くお変わりのない口調で滔々と語られた。



今年も参加者19名は先生の近況報告を目にし、まさに先生の私生活への「好奇心」でいっぱいとなった。



授賞式当日同窓生と

3月24日、第43回福岡市文学賞贈呈式が天神の市赤煉瓦文化館であった。

この賞は昭和45年度に創設された伝統ある賞であるが、平成以降では

吉岡紋さん(大2回)
第21回 小説部門
松本文世さん(専20文)
第24回 小説部門

上野眞子さん(大3回)
第33回 詩部門
田島安江さん(大15被)
第37回 詩部門

池野さんの受賞選考理由として「80代の女性という境遇には珍しく、会社経営や様々な社会貢献活動を通して培われた鋭い観察眼が、作品に躍動感を与えている。」

式当日池野さんの講話。「結婚後、子育て、仕事と当然のこととして受け入れていた多忙な日常のなかで、唯一自身で選択し勉強してきたものが短歌であった。4人息子の末子が小学校入学の頃から始めて38年の成果、それが今回の受賞。二つの歌集は、調停委員

と評されている。池野さんは平成元年〜4年まで筑紫海会副会長を務められた。

現在の心境として
残生の主張のごとく
ビルの中にまなく沈まむ日は輝きぬ

現在の心境として
残生の主張のごとく
ビルの中にまなく沈まむ日は輝きぬ

5人の会長の下で事務局19年!

平成6年5月、初めての総会会場の受付近くで声をかけられ「貴方何年生まれ?」「あら、私が卒業した次の年なのね!」と驚きの声。後に東京支部長の川口小夜子様(専25文・故人)と知り、彼女のモットーであった「同窓会は心のオアシス」が、その後の私のキーワードとなりました。

一介の主婦が今まで努めてこられたのは、自宅が近かったのが一番ですが、会長始め役員の皆様、会に取組まれるお姿に感謝し尊敬し共感したからだと思います。支えるつもりが支えられていたこと、多くの皆様とご縁ができたことに感謝し、お礼申し上げます。愛・LOVE・同窓会!

今度事務局に入りました鹿毛名穂子(大35食)です。主に年次会費の入力と名簿管理を担当。電話対応等、通常事務局にお一人様状態の為、毎日ドキドキです。会員の皆様と同窓会を結ぶ事務局になるよう頑張ります。

稲田公子(大29被)さん共々宜しくお願い致します。

書と共に一世紀を生きて

北畑 美子さん(専6文)

雅号 観瀾



母校へ寄贈された「得」

さる7月22日、昨年、百才で亡くなられた北畑観瀾氏の書「得」の贈呈式が母校でありました。

観瀾氏は、幼少より書に親しんでいましたが、卒業の翌年、時の書道の大家、比田井天来氏に出会ったことが、生涯書の道を歩むきっかけとなりました。

氏亡き後は、同じ門下の手島右卿氏の下で、書家として大きく飛躍し、跡を継いで、40年程、歴代総理を含む超党派国会議員に書法指導を続けると共に、彫雲社、抱雲美術社という二つの会を主宰されました。

昭和44年、外務省の訪欧書道文化使節団員としての欧州歴訪を経て、活動の場がさらに広がりました。

四度に亘る訪中で、王羲之と並び称される書の大家鄭道昭の碑文を始め、多くの石碑や法帖を、自身の目で確かめ、又、大英博物館所蔵の木簡の調査、研究に

取り組まれるなど、古筆の習得を通しての自己実現に努めました。

大半が70代になってからの活動で、米寿記念展、白寿記念特別展などとして結実しました。

筆を生き物のように自由に操ることができ、ポストン美術館には作品「石」、ベルギー文科省には「鏡」、国会議事堂には「可」が収蔵されるなど、各方面でも高く評価されています。

先生は、いつも女専で受けた教育を「自由で一人一人の学生を大切に」する素晴らしい校風だった」と話されていました。

先生は書について様々な話をして下さいましたが、繰り返し述べられたことは「自分を大事にする」ということでした。自分の中に持っている良い点に気づき、それを更に磨いていくことが大切であり、他方、このことがいかに大変で難しい

先生は書について様々な話をして下さいましたが、繰り返し述べられたことは「自分を大事にする」ということでした。自分の中に持っている良い点に気づき、それを更に磨いていくことが大切であり、他方、このことがいかに大変で難しい

事務局にとって、名簿発行は大仕事。初めて関わった平成8年版名簿。完べきなものを作るぞと大それた目標。でも初歩的なミス。岡崎元会長の励ましの木村屋のアンパンを涙目でほおばり、次こそはと誓ったことでした。平成12年版名簿名簿管理を同窓会で行った村石敦彦さん(大13理故人)を中心に4名で同窓生全員のデータを入力し、時間と戦いながら名簿形式にまとめ索引を作り、完成した時には達成感と満足感でいっぱい。万歳三唱!平成17年版名簿。市町村合併の年でこれ又各役員所への問い合わせ等で名簿委員さんもてんでご舞い。本年度は、後輩の稲田さんの陣頭指揮の下、無事A4版を発

バトンタッチ

左から 岩崎さん 鹿毛さん 稲田さん

左から 岩崎さん 鹿毛さん 稲田さん